

特集 >>> 建設施工における新技術, 新材料

p.19～71で紹介する技術は、NETIS登録されており、有識者会議にて「有用な技術」として選定された技術の中から選定したものである。

◇ 推奨技術・推奨技術候補

各地整の新技術活用評価会議等からの推薦を受け、本省のシステム検討会議にて下記の選考要件にて審議し、選定された画期的な技術。

〈選考要件〉

- 従来に比べ飛躍的な活用効果の改善が発揮されること
- 従来にはない先駆的な取り組みであり、将来公共工事等における幅広い活用が期待されること
- 技術内容が画期的であり、将来的に飛躍的な活用効果の改善が期待できること
- 技術内容が独創的である等、国際的に先端を行く技術または先進諸国への技術展開が期待されること
- 技術内容の応用性、適用性、普遍性等が高く、国内の諸課題への解決への貢献に加えて、国際的な課題の解決など国際貢献に大きく資すること

◇ 設計比較対象技術

各地整の新技術活用評価会議において「技術の優位性が高く安定性が確認されている技術」と評価された技術。

◇ 少実績優良技術

各地整の新技術活用評価会議において「技術の優位性が高いとの評価は得られているものの直轄工事等における実績が少なく技術の安定性が確認されていない技術」と評価された技術。

◇ 活用促進技術

各地整の新技術活用評価会議において「特定の性能又は機能が著しく優れている技術、特定の地域のみで普及しており全国に普及することが有益と判断される技術」等に該当する技術から選考された技術。

以上の方法にて選定、評価を行っている。

平成20年4月11日現在、下記の通り選定されている。

推奨技術候補	2件
設計比較対象技術	14件
少実績優良技術	13件
活用促進技術	1件